第7編 疾病対策等

1. 数値目標達成に向けた増減を定量的に判断できるもの

目安値と実績値とを比較し、以下により進捗区分欄の記載を判断

「A」:実績値が目安値以上の場合

「B」:実績値が目安値の8割以上の場合「C」:実績値が目安値の8割未満の場合

-」:実績値が把握できないもの(隔年調査等)

2. 数値目標が定性的な判断によるもの

進捗区分欄に「順調」=A、「概ね順調」=B、「努力を要する」=C、「-」

[総合分析]

全体目標であるがんの年齢調整死亡率(75歳未満)は、全体としては下降傾向にある。

一部の指標で目標達成に向け今後の努力を要する項目があるものの、全体としては概ね順調な進捗状況となっている。

	節 がんさ										
)ぐる現状と全体目 音標名	業 現状(H24)	目 標(H29)	H25 目安値	H26 目安値	H27 目安値	H28 目安値	H29 目安値	進捗区分	特記事項
	,,		St Mile II	II (AKTILO)	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	2327	(進捗区分が「順調」の場合は記載していません
305	がんの年 (75歳未満	齢調整死亡率	長野県69.4 全 国83.1 (H23)	60.6	66.4	65.0 68.3	63.5 62.0	62.1 62.3	60.6 64.9		引き続きがん対策を総合的に推進し、アウトカムである年齢調整死亡! の減少に努める
Π	がん対	策全般	(1123)								
					H25	H26	H27	H28	H29		杜司市市
	指	信標名	現状(H24)	目 標(H29)	目安値 実績値	目安値 実績値	目安値 実績値	目安値 実績値	目安値 実績値	進捗区分	特記事項(進捗区分が「順調」の場合は記載していませ
					6,314.4人						
06	がん予防	研修会の受講者数	5,393名 (H22~H24.12)	10,000人	6,895人	7,416人	8,568人	9,441人	10,182人	A	
					IM比 2.0	IM比 2.0	IM比 2.0	IM比 2.0	IM比 2.0		
					以上	以上	以上	以上	以上		
					DCN 20% 未満		DCN 20% 未満	DCN 20% 未満			
					DCO 10%	DCO 10%	DCO 10%	DCO 10%	DCO 10%		
77	地域がん	登録の精度指標		IM比 2.0以上 DCN 20%未満 DCO 10%未満	未満	未満	未満	未満	未満	A	
) ((IM比、DO	CN、DCO)	データ		IM比	IM比	IM比	IM比	IM比		
			なし		2.97 DCN	2.74 DCN	2.64 DCN	2.45 DCN	2.54 DCN		
					28.8%		16.6%	8.2%			
					DCO	DCO	DCO	DCO	DCO		
					28.8% (H22)	6.0% (H23)	5.3% (H24)	5.6% (H25)			
)8		が受けられる医療	103 77	402 PCNLL	12か所	12か所	12か所	12か所	12か所	А	
	機関数	に対してカウンセリ	12か所	12か所以上	12か所	12か所	12か所 8.4医療圏	12か所	12か所	11	
09 ンク	ングを受じ	けられる病院が整備	6医療圏	10医療圏			10医療圏			А	
-	されている医療圏数		0区原图	10区源色	7区源图	10区源图	10区原图	10区原图	10区原图		H28から生存率を調査する予定で
		登録による	データなし	把握	_	_	_	_	_	_	あったが、2016年の全国がん登録
10	死亡率、 有病数	罹患率、生存率、			罹患率のカヤサ	罹患率 のみ把握	罹患率 のみ把握	罹患率 のみ把握	罹患率 のみ把握		始に伴い国のシステムに変更した とで、生存確認調査の実施が延其
	行 / Y				Vノグ101/至	Vノグ101/至	V 20071口1注	V / か1に1座	ジグ1 51年		れた。
	がん検診	受診率向上等に			6社	9社	12社	15社	18社	Δ.	
11	関する協力	定締結企業数	3社	18社	3社	13社	13社	27社	31社	A	
10	キャンペー	ーン月間における	10圏域で実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施		
14	啓発活動	の実施	10回城(天旭	大旭	大旭	大旭	大旭	大旭	大旭	А	
Ш	がん検	診									
	指	指標名	現状(H24)	目 標(H29)	H25 目安値	H26 目安値	H27 目安値	H28 目安値	H29 目安値	進捗区分	特記事項
	,,		223107=17		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値		(進捗区分が「順調」の場合は記載していませ
13	進行がん	の割合	データなし	把握		 把握	 把握	 把握	 把握	А	
					37.4%	38.0%	38.7%	39.3%	40.0%		
	がん検診 受診率 大	胃がん	35.4% (H22)		46.7%	46.7%	46.7%	45.5%	45.5%	-	
			(- 100)	40%	33.0%	34.7%	36.5%	38.2%	40.0%	1	子宮がん及び乳がん検診におい 日安値を下回った 重占的な政
		肺がん	27.7%(H22)		50.2%	50.2%	50.2%	53.9%	53.9%	В	目安値を下回った。重点的な啓発行いたい。なお、子宮(頸)がん及乳がん検診は、2年に1回の受診
1.4			28.1%(H22)		33.2%	34.9%	36.6%	38.3%	40.0%		
14		大腸がん			44.3%	44.3%	44.3%	46.1%	46.1%		勧められている。2年以内の受診 を見ると、子宮頸がんが44.7%、乳
			, ,		36.7%	40.1%	43.4%	46.7%	50.0%		がんが48.2%であり、目安値には たないものの、上昇傾向にある。
		子宮がん	26.8%(H22)	50%	38.2%	38.2%	38.2%	34.8%	34.8%]	
					36.2%	39.7%	43.1%	46.6%	50.0%		
		乳がん	25.9%(H22)		39.2%	39.2%	39.2%	39.0%	39.0%	1	1

指標名		現状(H24)	目 標(H29)	H25 目安値 実績値	H26 目安値 実績値	H27 目安値 実績値	H28 目安値 実績値	H29 目安値 実績値	進捗区分	特記事項 (進捗区分が「順調」の場合は記載していません)
315	精密検査受診率 (5つのがんの平均)	県87.1% 全国87.8% (H21)	100%	91.9% 81.4% (H24)	93.6% 81.0% (H25)	95.2% 78.5% (H26)	96.8% 85.0% (H27)	98.4%	_	数值確定見込:H31.3
316	がん検診を実施する市町村 の割合	平均98.5% (H21)	100%	99.1% 98.2% (H24)	99.3% 98.4% (H25)	99.4% 99.0% (H26)	99.6% 99.2% (H27)	99.8% 99.2% (H28)	С	引き続き、がん検診を実施するよう市 町村へ働きかける。
317	がん検診プロセス指標を 用いた精度管理を実施 している市町村の割合	100%	100%	100% 100% (H24)	100% 100% (H25)	100% 100% (H26)	100% 100% (H27)	100% 100% (H28)	А	
318	チェックリストによるがん検診 事業評価におけるA、Bの 市町村の割合	平均49.1% (H22)	増加	49.1% 67.8% (H24)	49.1% 49.1% (H25)	49.1% 54.0% (H26)	49.1% 43.2% (H27)	49.1% 50.0% (H28)	А	
319	住民に対してがん検診の 普及啓発を実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	А	
320	個人別の受診台帳、または データベースを整備して いる市町村の割合	平均78.4% (H22)	増加	78.4% 87.9% (H24)	78.4% 86.1% (H25)	78.4% 85.9% (H26)	78.4% 87.8% (H27)	78.4% 80.2% (H28)	А	
				95.8%	95.8%	95.8%	95.8%	95.8%		がん検診チェックリストの改定により、「対象者全員に、個別に受診勧奨を
	がん検診対象者に対して、 均等に受診勧奨を行って いる市町村の割合	平均95.8% (H22)	増加	92.4% (H24)	93.0% (H25)	86.8% (H26)	79.6% (H27)	77.1% (H28)	_	行いましたか」という質問に変更された。また、集団検診に加えて個別検診においても調査対象となったため、実施率が減少した。(進捗評価はNo318と同)
	要精密検査者に対して、			94.1%	94.1%	94.1%	94.1%	94.1%		がん検診チェックリストの改定により、 集団検診に加えて個別検診におい
322	受診勧奨を行っている市町村の割合	平均94.1% (H22)	増加	94.9% (H24)	91.8% (H25)	90.7% (H26)	83% (H27)	84.8% (H28)	_	ても調査対象となったため、実施率 が減少した。(進捗評価はNo318と 同)
	女性特有のがん検診推進			64	64	64	64	64		当該制度は、国庫補助事業である 「がん検診推進事業」の対象者を対
323	事業相互乗り入れ制度 参加市町村数	64	増加	65	60	55	51	52	В	象に実施しているが、事業内容の変 更に伴い、事業自体を実施しない市 町村が増加した。
	チェックリストによるがん検診 事業評価を実施している 検診機関数	3機関	3機関	3機関 3機関	3機関 3機関	3機関 3機関	3機関 3機関	3機関 3機関	А	
325	住民に対してがん検診の 普及啓発を実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	А	
326	職域におけるがん検診 実施率の把握方法の検討	未把握	実施	未把握	未把握	未把握	未把握	未把握	C	把握方法について引続き検討を行 う。
327	市町村や一次検診機関 に対する、精密検査結果の 報告率	平均97.3% (H22)	増加	97.3% 97.6% (H24)	97.3% 97.2% (H25)	97.3% 92.1% (H26)	97.3% 85.6% (H27)	97.3% 88% (H28)	_	がん検診チェックリストの改定により、 集団検診に加えて個別検診においても調査対象となったため、実施率 が減少した。(進捗評価はNo318と 同)
220	女性特有のがん検診推進 事業相互乗り入れ制度			乳がん 56機関 子宮がん 103機関	乳がん 56機関 子宮がん 103機関	乳がん 56機関 子宮がん 103機関	乳がん 56機関 子宮がん 103機関		D	参加医療機関は県医師会を通じて 募集しているため、参加呼びかけの 方法について検討を行う。
320	参加医療機関数	乳がん 56機関 子宮がん 103機関	増加	乳がん 59機関 子宮がん 105機関	乳がん 56機関 子宮がん 105機関	乳がん 57機関 子宮がん 100機関	乳がん 56機関 子宮がん 98機関	子宮がん	В	
	がん検診検討協議会の開催	1回/年開催	継続	継続	継続	継続	継続	継続	А	
330	がん検診担当者研修会の 実施	1回/年開催	継続	継続	継続	継続	継続	継続	А	
331	ホームページやテレビ、 ラジオ等を用いたがん検診 の普及啓発を実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	А	
332	がん予防研修会の受講者数 (再掲(306))	5,393名 (H22~H24.12)	10,000人	6,314.4人 6,895人	7,235.8人 7,416人	8,157.2人 8,568人	9,078.6人 9,441人	10,000人	А	
333	地域・職域連携協議会での、 がん検診に関する情報提供 やき見な始の実施	未把握	医療圏ごとに	医療圏ご とに実施 未把握	医療圏ご とに実施 未把握	医療圏ご とに実施 未把握	医療圏ご とに実施 未把握	医療圏ご とに実施 未把握	С	把握方法について引続き検討を行 う。
334	や意見交換の実施 がん検診事業評価を実施	実施	実施 継続	継続	継続	継続	継続	継続	А	
225	し、ホームページ等で公表 圏域におけるがん検診 担当者会議の実施	10圏域で実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	
	女性特有のがん検診推進 事業の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	А	

	指標名	現状(H24)	目 標(H29)	H25 目安値 実績値	H26 目安値 実績値	H27 目安値 実績値	H28 目安値 実績値	H29 目安値 実績値	進捗区分	特記事項 (進捗区分が「順調」の場合は記載していません)
337	マンモグラフィ読影認定 医師数	153名 (H24.12)	153名 以上	153名 173名	153名 174名	153名 177名	153名 176名	153名 162名	А	
338	マンモグラフィ撮影認定 放射線技師・医師数	150名 (H24.12)	150名 以上	<u>150名</u> 167名	150名 176名	150名 165名	150名 167名	150名 165名	А	
N	がん医療									
	指標名	現状(H24)	目 標(H29)	H25 目安値 実績値	H26 目安値 実績値	H27 目安値 実績値	H28 目安値 実績値	H29 目安値 実績値	進捗区分	特記事項 (進捗区分が「順調」の場合は記載していません)
339	集学的治療の実施病院数 (がん診療連携拠点病院 等の整備)	8拠点病院	11拠点病院等	8.6拠点病院 8拠点病院	9.2拠点病院 8拠点病院等	9.8拠点病院 11拠点病院等		11拠点病院	А	
240	セカンドオピニオンを受け られる病院が整備されて	·		8.4医療圏	8.8医療圏	9.2医療圏	9.6医療圏	10医療圏	А	
340	いる医療圏数	8医療圏	10医療圏			10医療圏		10医療圏	А	
0.41	チーム医療を受けられる病院			6.8医療圏	7.6医療圏	8.4医療圏	9.2医療圏	10医療圏	Δ.	
341	が整備されている医療圏数 小児がん拠点病院又は	6医療圏	10医療圏	9医療圏 0.2病院	9医療圏 0.4病院	9医療圏 0.6病院	9医療圏 0.8病院	10医療圏	А	
342	関連する病院の整備	0病院	1病院	2病院	2病院	2病院	2病院	2病院	А	
343	がん診療連携拠点病院の 機能評価	8病院	8病院	8病院 8病院	8病院 8病院	8病院 8病院	8病院 8病院	8病院 8病院	А	
344	援和ケア研修会の受講者数 (累積)	628人	628人	628人	628人	628人	628人	628人	А	
	(光預)	(H23)	以上							
				17か所	17か所	17か所	17か所	17か所		
345	緩和ケアチームのある医療 機関数	長野県 17: 17か所 全国平均 13か所 (H20)	17か所以上	17か所	18か所	20か所	20か所	20か所 (H26)	A	
346	医療用麻薬を提供できる 薬局(免許取得率)	92.9%	92.9%	92.9% 93.7%	92.9% 94.1%	92.9% 94.5%	92.9% 94.7%	92.9% 95.0%		
347	がん診療連携拠点病院等 による各種研修会、カンファ レンスなどを通じた地域 連携・支援が行われている		以上			8.4医療圏			A	
	医療圏数	6医療圏	10医療圏	6医療圏	6医療圏	9医療圏	9医療圏	10医療圏		
348	地域連携クリティカルパスに基づく診療提供機能を有し	6医療圏	10医療圏			8.4医療圏 10医療圏		10医療圏 10医療圏	А	
	ている医療圏数(再掲(227))	0 △原图	10区原图	一	一	10区原图	10区原图	10区原图		
	放射線治療医の確保	7人	全ての拠点病 院に配置	9人	13人	27人	29人	24人	А	
350	がん薬物療法専門医の 確保	0.1	全ての拠点病	_	-	-	-		Α	
		8人	全ての拠点病 院に配置	11人	16人	16人	17人	23人		
351	血液腫瘍専門医の確保	31人	31人以上	33人	45人	45人	45人	58人	А	
352	病理診断医の確保			28人	28人	28人	28人	28人	А	
302	が生砂町区の碓床	28人 (H22)	28人以上	26人 (H24)	33人	_	29人	29人		
353	がん患者の在宅死亡割合	長野県12% 全国8.9% (H22)	12%	12%	9.9%	9.9%	12% 14.9%	12% 15.2%	A	
954	がんリハビリテーションの	(* ****)		5.2医療圏	6.4医療圏	7.6医療圏	8.8医療圏	10医療圏	В	北信医療圏が未整備
აე4	受けられる病院が整備されている医療圏数	4医療圏	10医療圏	6医療圏	8医療圏	9医療圏	9医療圏	9医療圏		ALIFI区原圏が不登開
355	末期のがん患者に対して 在宅医療を提供する医療			154か所	154か所	154か所		154か所	А	
	機関数	154か所	154か所以上	174か所	180か所	184か所	170か所	186か所	- *	

Α	В	С		計
38	4	3	5	50